2026
11.1
No.194
９月定例会

天童市議会だより

市政をもっと身近に！わかりやすく！



イラスト作品名「天童の秋」（題字とイラストの作者紹介は、18ページをご覧ください。）

中学生が彩る、魅力満載の作品が大集合！

特集①

市議会だよりの歴代表紙を紹介します

181号



『入道雲と金魚』

イラスト
四中３年　村山柚稀さん

180号



『こどもの日』

イラスト
三中３年　奥山華穂さん

179号



『雪灯籠まつり』

イラスト
二中２年　小野寺　絆さん

178号



『秋』

イラスト
一中３年　村山凛々花さん

189号



『海』

題　字
四中３年　鴫原わこさん
イラスト
四中３年　後藤紅愛さん
後藤茉子さん
岡崎百花さん

188号



『風薫る五月』

題　字
三中３年　大山舞衣さん
イラスト
三中３年　近藤香菜さん

187号



『冬の天童』

題　字
二中３年　神尾望々花さん
イラスト
二中２年　宮本望羽さん

186号



『秋、和む』

題　字
一中３年　樋渡　南さん
イラスト
一中３年　仲野萌実さん

『　』はイラスト作品名です。※作成当時の学年・お名前を記載しています。



天童市議会だよりは、より多くの方から手にとってもらえるような魅力ある表紙づくりのため、市内中学生の皆さんにご協力いただき、表紙のイラストと題字を毎号提供していただいております。イラストの提供は第178号（令和４年11月１日号）から、題字の提供は第186号（令和６年11月１日号）から始まりました。季節感あふれるものや天童らしいイラスト、流れるように美しい題字など、数々の素晴らしい作品が市議会だよりの表紙を彩っております。

これまでに提供いただいた歴代の作品をご紹介します。

185号



『Blue lilac（ブルー ライラック）』

イラスト

四中３年　居鶴美菜子さん

184号



『子どもの日のかぶと』

イラスト

三中３年　長倉新菜さん

183号



『見どころまんてん！天童冬景色』

イラスト

二中１年　村山茉里衣さん

182号



『秋を嗜（たしな）む』

イラスト

一中３年　神尾陽向さん

193号



『青空に映える天童』

題　字・イラスト

四中３年　奥山奈々さん

192号



『たのしいこどもの日』

題　字

三中３年　秋山優天さん

イラスト

三中３年　伊藤玲奈さん

191号



『冬の天童駅にて』

題　字

二中３年　伊藤胡桃さん

イラスト

二中２年　矢島結愛さん

190号



『木枯らし』

題　字

一中３年　瀬野葉月さん

イラスト

一中３年　村形一歌さん

今号からも引き続き、市内中学生の皆さんにイラスト・題字をお願いしております。今回から生徒さんの作品をより大きく掲載させていただいております。今後も、魅力あふれる作品をお楽しみにお待ちください。

特集②

に向けて 換会を開催しました！


天童二中


天童一中





天童市が「若者に選ばれるまち」になるには

市議会では、未来を担う若い世代にまちづくりや政治に関心を持つとともに、議会が身近なものであることを感じてもらうため、市内四つの中学校の代表の生徒21人と意見交換会を実施しました。

今回は「若者に選ばれるまち」をテーマに、天童市の魅力や天童市にこういったものがあればいい、こうなってほしいなど、中学生が考えたアイデアなどについて意見交換を行いました。

今回の意見交換会では、テーマのほかにも、生徒の皆さんが生活の中で感じていることや思っていること、地域の課題などが寄せられました。大人にはない柔軟な発想や、これからの社会を担う若い世代ならではの率直な考えを聞くことができたことは、市議会として非常に刺激となりました。

若い皆さんの声は、時代のニーズに応じた活力ある地域づくりに必要不可欠です。市議会として、今回寄せられた意見を受け止め、「若者に選ばれるまち」を目指し、今後の市政発展につなげていきます。

これからも市議会は、多くの市民の皆さまと向き合い、共により良いまちづくりを目指して進んでまいります。

未来のまちづくり
市内中学生との意見交


天童四中


天童三中





中学生から出された主な意見（選ばれるまち、天童市の魅力など）

○天童駅の駅前周辺に若者や中高生が気軽に立ち寄れるカフェやファストフード店などがあればいい。

○子どもや家族が一緒に遊べる場所や、身近にスポーツを楽しめる施設があるとよい。

○循環バスのような中高生が気軽に使える移動手段があるとよい。

○天童の人は温かいので、人の温かさを感じることができるように、地域や多くの人と触れ合う場所があるとよい。

○若者へＳＮＳを通じてボランティアの募集をかけてはどうか。

○温泉街にも魅力があると思うが、子どもたちだけで行ける場所がない。

○都会過ぎず田舎過ぎず、自然と生活の便利さのバランスがよい。

○地域行事が減少しているため、各地区の特色を生かしながら再開・改善してほしい。

○企業、行政、地域団体等と連携し、多様な職業体験の機会があれば、市外に出ても将来戻ってくるきっかけになる。

○果樹園や山々に囲まれた自然環境、空気や水、米がおいしい所。また、給食に旬の果物が出てくるなど自然豊かなところは魅力であり、市外に向けてＰＲしていくべき。

９月定例会

インターネットで議会中継
天童市議会 で 検索
https://www.city.tendo.yamagata.jp/congress/

令和８年度第４回市議会定例会（９月定例会）は、８月27日から９月18日までの23日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の人事案件５件について同意しました。そのほか、令和７年度決算議案11件、令和８年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案８件及び条例議案３件、一般議案３件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、審査を経て最終日の本会議で採決が行われました。（採決結果は17ページに掲載してあります。）

【審査日程】

月　日	内　容
８／27(木)	**本会議**（会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など） **決算特別委員会**（正副委員長の互選）
８／31(月) ９／１(火)	**本会議**（市政に対する一般質問）
９／２(水)	**総括質疑** **決算特別委員会** **予算特別委員会**
９／３(木) ９／４(金)	**総務教育常任委員会** **決算・予算特別委員会分科会**（付託案件の審査）
９／７(月) ９／８(火)	**環境福祉常任委員会** **決算・予算特別委員会分科会**（付託案件の審査）
９／９(水) ９／10(木)	**経済建設常任委員会** **決算・予算特別委員会分科会**（付託案件の審査）
９／16(水)	**決算特別委員会**（各分科会長審査報告、質疑、討論、表決） **予算特別委員会**（各分科会長審査報告、質疑、討論、表決）
９／18(金)	**本会議**（委員長報告、質疑、討論、表決など）

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、８月31日、９月１日の２日間の日程で、13人の議員が行いました。

捕獲した有害鳥獣の処理施設の設置や、障がい者就労支援における本市の取組みなどについて、市長等の見解を求めました。**※議員の原稿をそのまま掲載しています。**

質問者と質問事項

清新会

【新関　知己　議員】
- やまがた安心ポータル「やまもり」について
- 鳥類のフン被害の現状と対策について

【滝口　茂之　議員】
- ＧＩＧＡスクール構想の影響について
- 市立公民館の保守管理について

【佐藤　孝一　議員】
- 有害鳥獣被害対策について
- こども性暴力防止法（日本版ＤＢＳ）について
- 受動喫煙防止について

【佐藤　俊弥　議員】
- 歴史的資料や文化財の保存・展示施設について
- 文化財の保管について
- モンテディオ山形新スタジアムへのアクセスについて

【鈴木　照一　議員】
- 防災減災対策について
- 県立高校の再編整備における天童高等学校の在り方について
- モンテディオ山形新スタジアムを核としたまちづくり

てんどう創生の会

【半田　大介　議員】
- 障がい者就労支援における本市の取組みについて
- 部活動の地域展開における現状と今後について

【斉藤　美千代　議員】
- 家庭教育について

【三宅　和広　議員】
- 鳥獣被害対策について

【林　正人　議員】
- 天童最上川温泉ゆぴあの持続可能な経営体制と今後の在り方について

清風

【横山　愛　議員】
- 若者が結婚・子育てを選択できるまちづくり

会派に所属していない議員

【駒延　法子　議員】
- 産業振興と企業誘致について
- こども家庭センターの機能強化について

【野口　さつき　議員】
- 障がい福祉サービスにおける日常生活用具給付の要件緩和及び撤廃について
- 障がい者における移動支援の充実・確保について

【伊藤　和子　議員】
- 本市における「こどもの居場所づくりに関する指針」の進め方について

1 新関（にいぜき） 知己（ともみ） 議員

やまがた安心ポータル「やまもり」について



詳しくはコチラ

Q 山形県では、やまがた安心ポータル「やまもり」というアプリを提供しているが、本市では、市民の方にどのような周知を行い、単にアプリの存在を知らせるだけでなく、避難所受付に活用できることまで含めて、周知しているのか伺う。

A 「やまもり」の認知度は、低い状況である。多くの市民の方から登録してもらえるよう、さまざまな機会を捉えながら県とともに普及啓発に一層取り組んでいく。

Q 避難所現場で対応する市職員や施設担当者、自主防災組織などに対し、「やまもり」を使った受付や避難者情報の確認について必要な訓練やマニュアル整備は進んでいるのか伺う。

A 議員の御指摘にもあるとおり、「やまもり」を使った避難所開設訓練等も、必要性が高いと考えている。円滑な避難所運営が図られるよう、避難所運営マニュアルの改定とともに実施していく。

2 滝口（たきぐち） 茂之（しげゆき） 議員

エレベーター停止長期化の責任と対策は



詳しくはコチラ

Q 長岡公民館のエレベーターが約3カ月間にわたり停止し、毎週の体操教室や健康診断で2階を利用する高齢者や足の不自由な方々に階段昇降を強いるなど、市民へ多大な迷惑と不便をかけたのではないか。部品調達が難航した時点で、業者の変更や代替手段を迅速に検討すべきではなかったのか。

A 他の業者からは納期を理由に辞退され、迅速に対応可能な現在の管理委託業者に依頼せざるを得ず時間を要した。点検業者からの点検報告に基づき、8月までに是正する予定であった。

Q 独立系業者では迅速な部品入手の限界がある。今後はメーカー系のフルメンテナンス契約への切り替えや、専門的知見を持つ職員による発注のチェック機能の強化が必要ではないか。

A 市庁舎では今年4月からフルメンテナンス契約に切り替え、迅速に対応できている。今後は他施設への水平展開も含め、利用者に不便をかけない適切な施設管理とリスク管理に努めていく。

3 佐藤（さとう） 孝一（こういち） 議員

有害鳥獣被害対策の充実と強化策は



詳しくはコチラ

Q 県全体ではイノシシの生息数は高止まりしており、クマの出没増加や人身被害も発生している。猟友会は捕獲活動やパトロールの実施、市街地出没時や被害発生時には市・関連機関と連携して捕獲・追い払い等の活動をしている。捕獲個体の埋却処理は私有地を借りて行われており、人手と労力の負担が大きく、減容・処理施設等の早急な整備が必要ではないか。緩衝帯の整備、ガバメントハンターの採用、クマ被害防止の周知についてどのように考えているのか。

A 捕獲個体の処理施設等の整備については他自治体の事例を参考に適切な方法を検討する。住宅周辺の不要な果樹の伐採や緩衝帯整備助成を今年度から開始しており、次年度以降も拡大予定。地域の意見を聞きながら緩衝帯整備の助成を進める。ガバメントハンター導入は将来的な課題として捉えている。クマ被害防止については山菜やキノコ採り等の時期に応じた啓発に努める。

4 佐藤 俊弥 議員

新スタジアムへ安全に行く横断方法は



詳しくはコチラ

Q これから新スタジアム周辺を訪れる人々が多くなると予想される。歩行者が安全に国道13号を横断するため、県総合運動公園前に仙台駅にあるペデストリアンデッキ（歩行者専用高架橋）のような歩行者専用通路の設置などは考えられないか。以前より舞鶴山山頂からＪＲ天童南駅と新スタジアムをロープウェイで結ぶプランや吊り橋をつくって国道を渡ることなど、天童市を満喫できるような構想を申し上げている。交流人口確保に向けた本市の意気込みを広く伝えるチャンスである。

A 自家用車以外で新スタジアムへ移動する交通手段として、モンテディオ山形のホーム戦開催時は、市スポーツセンターや市役所などの公的施設と県総合運動公園を発着とする無料シャトルバスを運行している。提案のあった国道13号を横断するための歩行者専用通路の設置は課題が多く困難である。市としては歩行者の安全性を高められる効果的な手段を検討していく。

5 鈴木 照一 議員

天童高等学校の存続に向けた取組みを



詳しくはコチラ

Q 今後の県立高校の基本的な方向性を示す県立高校未来創造ビジョンが策定された。本県の生徒数は減少傾向にあり、高校の統廃合が進むものと考えられる。本市のまちづくりにとって重要な天童高等学校も例外ではなく、将来的な統廃合は否定できない。天童高等学校は昭和54年に現在地に移転して、建設から47年が経過し、校舎の老朽化が進んでいる。現在より利便性のよい場所への移転も視野に、県と連携し天童高等学校の存続に向けた取組みが必要ではないか。

A 天童高等学校は、中学校の卒業後から、大学などの高等教育機関や社会へと繋げる大切な役割を担っているものと認識している。市内外から多くの生徒が通学しており、人間将棋や天童夏まつりへの参加を通して、若い力によるまちの活性化にも寄与している。今後は、県の検討状況を注視するとともに、天童高等学校がこれまで以上に魅力的で活力のある学校となり、その存続につながっていくよう、県に対して必要な対応を行っていく。

6 半田 大介 議員

障がい者就労支援さらなる農福連携を



詳しくはコチラ

Q 企業や農家には軽作業などの人手不足がある一方、障がい者就労支援施設には働く意欲のある方がいる。福祉・商工・農業が連携し、仕事を依頼したい側と受けたい側をつなぐ庁内横断的な仕組みが必要ではないか。

A 施設等の利用者が担う作業が企業等のニーズと合致すれば、双方に非常に有益なものとなる。

Q 県の農福連携推進センターを知らない農家や事業者も多い。ＪＡや商工団体等への周知やニーズ調査を行い、小規模な作業から連携を広げるべきではないか。

A 既存の県の仕組みを市内事業所や農業関係者へ周知し、活用を促していきたい。

Q 施設ごとに「できる仕事」を見える化し、対応可能な作業や人数などを一覧化するなど、企業や農家が相談しやすい環境を整え、市役所も物品・役務の優先調達をさらに進めるべきではないか。

A 対応可能な作業を一覧化し発注や相談しやすい環境を整備したい。優先調達については、各課に発注を促していきたい。

7 斉藤美千代（さいとうみちよ）議員

「一日保育士体験」で親育ち支援を



詳しくはコチラ

Q 0・1・2歳の乳幼児期の親との愛着形成がその後の生活習慣、社会性へ与える影響をどのように認識しているか。

A 子どもの健やかな心身の発達のためには、乳幼児期の愛着形成が極めて重要であり、その後の安心感や自己肯定感、社会性を育むための基盤になる。安定した愛着が形成されることで、親の存在が安心できる安全な場所となり、人との信頼関係や社会の中で助け合いながら自立していくことにつながる。子どものときに愛着形成をいかに築くかがその後の人生に大きな影響を与えると認識している。

Q この時期に子どもとの関わりを重ねながら親もまた親として成長していくため、親育ち支援として「一日保育士体験」を実施してはどうか。

A 親が育つことを支援することも大切であり、親が安心して子育てできるよう社会全体で支える取組みが必要である。一日保育士体験は、保護者の親心を育む効果が期待される一方、受け入れ側の課題もあり、今後の取組みの参考としたい。

8 三宅（みやけ）和広（かずひろ）議員

鳥獣被害対策実施隊の負担を軽減するために



詳しくはコチラ

Q 捕獲した鳥獣の処理が鳥獣被害対策実施隊員の負担になっている。岩手県遠野市では、大型排水管を利用した処理設備を導入している。負担軽減に大きな効果が出ており、また、大規模な減容施設建設に比べると設置費用は安価である。本市でも導入してはどうか。

A ご提案いただいた大型排水管を利用した簡易減容設備は、導入費用、処理費用ともに安価であり有力な方法である。一方で、周辺地域へ悪臭などの影響が懸念されるため、さまざまな点を考慮しながら適切な方法を検討していく。

Q 鳥獣がわなにかかるとメールで通知され、その現場をライブカメラで確認できるようなシステムは、鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減につながる。本市でも導入してはどうか。

A 効率的な捕獲活動を実施するためにICT機器の活用は有効な手段である。実際に運用することとなる鳥獣被害対策実施隊員の意向も考慮しながら、本市の実情に合う機器の導入を検討していく。

9 林（はやし）正人（まさと）議員

ゆぴあの持続可能な経営体制と今後は



詳しくはコチラ

Q 「天童最上川温泉ゆぴあ」は、開館以来、多くの市民や市外・県外の来訪者に親しまれ、憩いの場として、また健康増進や交流の拠点として大変重要な役割を果たしている。しかし施設の老朽化、近年の物価高騰やエネルギー価格の高騰など、取り巻く経営環境は非常に厳しい状況にある。今後の持続可能な運営に向けて、令和8年5月に行った調査結果に伴い、市としてどのような優先課題を想定しているのか。また、350円という価格を維持する考えはあるのか。本市の考えや展望を伺う。

A 市民保養施設大規模修繕工事調査業務委託を発注している。施設の一部改築を含めた機械設備の入れ替えや配管設備、電気設備等の大規模修繕に要する概算費用算定を行うものである。将来的にも大規模な事業となる見込みであり、適切な入浴料の額については、施設の改修計画と併せて検討していく必要があると考えている。

10 横山 愛 議員

若者が未来を描ける天童へ



詳しくはコチラ

Q 婚姻数が減少する中、少子化対策は子どもが生まれた後だけでなく、結婚前の若者の暮らしまで対象を広げる必要がある。出会いに加え、所得、仕事、住まいなど、結婚に踏み出せない要因への支援や、住宅政策を進めるべきでは。

A 婚活イベントやAIマッチングへの支援、若い世代の経済的負担軽減に取り組んでいる。住宅等への支援も、若者や新婚世代に有効と考える。

Q 20代、特に女性の県外転出が大きい。雇用の数だけでなく、賃金格差や働き方、仕事と子育てを両立できる環境を整え、就職、所得、住宅、結婚、子育てを一体の若者政策として進めるべきでは。

A 若者の人生を就学、就職、結婚、子育てまで一つの流れとして捉え、各分野の政策を横断した若者政策として考える必要がある。それぞれの人生の節目で一歩踏み出せるよう支援し、若者に選ばれる天童市を皆さんと共につくり上げていきたい。

11 駒延 法子 議員

産業振興と高付加価値産業の誘致について



詳しくはコチラ

Q 本市の産業振興と今後の高付加価値産業の企業誘致の方針について伺う。

A 本市としては、令和4年度から事業面積約21・1ヘクタールの石鳥居東工業団地整備事業に取り組んでおり、現在も権利者の皆さまと協議を継続しながら、用地を取得中である。

企業誘致としては、市内で操業している事業者の関連事業や、女性・若者の採用に積極的な企業に対して、市内への進出を促すよう、関係機関と情報交換しながら取り組んでいる。

高付加価値産業の誘致に関しては、現在、県において国が推進する地域未来戦略プランを踏まえた地域産業政策プランの策定を進めている。その中で半導体や自動車関連産業、社会や経済の仕組みを再構築しながら、持続可能な形で脱炭素を実現していくグリーントランスフォーメーション関連産業などの育成を検討している。本市においても、この動きを踏まえて、国や県と連携を取りながら誘致活動を進めていく。

12 野口 さつき 議員

視覚障がい者に正確な情報と生活の質向上を



詳しくはコチラ

Q 本市の障がい福祉サービスの日常生活用具の給付では、触読式の腕時計が優先されており、何らかの障がいで使えない方に限り、身体障害者手帳2級以上で音声式の腕時計を申請できると定めている。しかし、中途視覚障がい者の点字習得の困難さや、夜間・災害時における迅速な時刻把握の重要性等を考慮すると、限定条件を撤廃し、利用者が実情に合わせて選択できるよう要件を緩和すべきではないか。また、音声式体重計の給付では、同居家族がいる場合は申請できない要件となっている。家族の高齢化や就労形態・生活時間帯の違いにより、家族に頼って毎日の体重を把握することは困難である。同居家族の有無に関わらず給付対象とすべきと考えるが、本市の見解を伺う。

A 視覚に障がいのある方のさまざまな実情や、他自治体の状況なども踏まえて検討したい。日常生活用具給付事業の見直しにあたっては、対象要件の設定や潜在的な対象者数なども見極め、来年度当初予算までに検討したいと考えている。

13

伊藤　和子　議員

こどもの居場所づくりをどう進めるのか



詳しくはコチラ

Q 令和5年にこども家庭庁でこどもの居場所に関する指針を閣議決定で出している。こどもの声を聞き、こどもの視点で、こどもと共につくる居場所、こどもの権利の擁護、官民の連携・協働を挙げている。天童市としてどう取り組んでいるか。

A こどもが家庭以外でも安心して過ごせる場と捉えており、国が示す4つの基本的な視点に基づき、実施を予定している天童市こども・若者会議や天童市こどもの生活実態調査の中でこどもたちの声を聞きながら、調査・研究していく。

こども・若者会議は中学生から23歳までの若者を30人程度募集し、ワークショップ形式で話し合い、発表してもらう予定。こどもの生活実態調査は5歳児の保護者、10歳、13歳、16歳のこどもとその保護者を対象に行い、居場所についての考え方も伺う予定である。

総括質疑

9月2日、議会に提出された議案に対し、各常任委員会および決算・予算特別委員会各分科会での審査に入る前に総括質疑を行いました。

総括質疑とは、一般議案や決算・予算議案に対し、各常任委員会・分科会において詳細な審査を行う前に、概要等についての質疑を行うものです。質疑の主な内容は以下のとおりです。

一般議案　天童市立図書館システム関連機器の取得について

伊藤　和子　議員

Q 機器を新たに導入する予定であるが、これまでとの改善点は。

A 利用者サービスの向上と蔵書管理の効率化のため、バーコード管理からICタグによる管理への移行を計画している。これまでの改善点として、貸出・返却手続きの迅速化、図書館サービスの充実、図書管理の強化、および利用時間の拡大が期待できる。

一般議案　印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

狩野　佳和　議員

Q 特定在留カード、特定特別永住者証明書の内容と申請数は。また、対象カードを使用した場合の印鑑登録証明書の発行手数料は。

A 特定在留カード・特定特別永住者証明書は、中長期滞在者に交付される在留カード、特別永住者に交付される特別永住者証明書に、それぞれマイナンバー機能を一体化させたものである。なお、本市で把握している申請数は特定在留カードが8件、特定特別永住者証明書は0件となっている。印鑑登録証明書の交付手数料は、市民課窓口では1通当たり400円で、コンビニエンスストア等での交付は1通当たり200円である。

決算議案　果樹栽培施設等整備支援事業費補助金について

水戸　保　議員

Q 当初は1億円の予算だったが、決算額としては3934万円だった。予算執行率の低い要因と件数の内訳は。

A 執行率の低い要因は、資材価格の上昇や近年のさくらんぼの不作が続いたことにより、桃への転換を検討する農家が増加していること、令和4年度から事業を実施してきたことで、一定の需要に応えてきたことが挙げられる。件数の内訳は、さくらんぼの雨除けハウスが37件、ぶどうの棚の設置が7件、遮光資材や遮光シート等設置が20件となっており、合計64件である。

決算議案　日常生活圏域ニーズ調査業務委託料について

横山　愛　議員

Q 日常生活圏域ニーズ調査業務委託料の内容は。

A 第10期天童市介護保険事業計画の策定に向けて、高齢者の生活状況や健康状態、地域活動への参加状況を把握するために実施している。対象は市内在住の要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者3000人である。調査内容は、運動機能や認知機能、社会的活動への参加状況など、日常生活における心身の状態と環境についてである。

令和７年度 決　算

一般会計・特別会計
歳入　513億8842万円・歳出　482億9982万円

９月定例会の決算特別委員会では、令和７年度の決算について審査が行われました。審査で交わされた質疑の主な内容についてお伝えします。

話すことでより英語に親しみを

Q エンジョイイングリッシュ事業の内容と対象は。

A 英語の「聞くこと」「話すこと」を楽しみながら上達できるよう、ＡＬＴ（外国語指導助手）を講師として、小中学生を対象に、日本語を使わないでオールイングリッシュによるコミュニケーション活動を実施した。夏休みに４日間、春休みに３日間開催し、延べ人数で小学生58人、中学生79人の計137人の参加があった。

返礼品の傾向は

Q ふるさと納税の返礼品について、令和７年度の傾向は。

A 申込数ではフルーツが１位だが、寄附金額別では、価格が高騰し、一時期店頭でも品薄になった米が５割近くを占めた。以下、フルーツが３割程度で、ジュースや麺など加工品が２割程度となった。

中学校での水泳指導を２校に拡大

Q 中学校を対象とした水泳指導の民間委託の状況は。

A 安全安心な水泳授業と泳力向上のため、第二中学校と、新たに第四中学校を加えた２校で実施した。水泳の専門の方から指導を受けられると、生徒と先生の両方から好評をいただいている。なお、今年度は全中学校で実施している。

水道管の耐震化率は

Q 水道事業の改良工事の16件のうち９件が耐震化事業であるが、本市の水道管の耐震化率は。

A 国で定めた指針により、古い管であっても、地盤条件が良好であれば耐震性を有するものとみなされることを踏まえると、震度６弱程度の地震を想定した本市の水道の配水管路耐震化率は92.1パーセントとなっている。

保育士宿舎の借り上げ支援を強化

Q 保育士宿舎借り上げ支援事業の効果は。

A 保育士の就業支援、就業継続、離職防止を図るために保育士の家賃補助を行う事業で、令和７年度の補助対象者は19人で、前年度（令和６年度）から補助対象経費上限額を月額3000円引き上げた。この事業により、保育士確保について、一定の効果があったと認識している。

農業担い手の確保のために

Q 新規就農者移住・定住促進事業費補助金の詳細は。

A 市外から新規就農を目指して本市に移住･定住する方を対象に、最大５年間の家賃と光熱水費を補助し本市への定住と新規就農の促進を図るもので、１名が補助金を活用した。



ＡＩを活用した胸部X線の検査システムを導入

Q クラウド型胸部Ｘ線画像読影支援ＡＩシステムを導入した背景は。

A 胸部Ｘ線検査（レントゲン検査）で撮影した画像を２人の医師が確認することにより、病気等の早期発見に努めているが、ＡＩを活用することにより、見落としのリスクが低減し、検査の精度を高めることで、より一層信頼できる検査結果を提供できるようになることから、システムの導入を決定した。

定住人口拡大へ

Q 住むならてんどう！新築住宅取得応援事業の内訳は。

A 令和７年度の補助件数は190件で、若者・子育て世帯が176世帯、若者・子育て世帯以外の転入世帯が14世帯。

地域別では、天童南部が31世帯、天童中部37世帯、天童北部15世帯、成生５世帯、蔵増17世帯、寺津２世帯、津山20世帯、山口６世帯、高擶15世帯、長岡31世帯、干布９世帯、荒谷２世帯となっている。

令和８年度 補正予算

９月の定例会において補正予算が提出されました。補正予算は予算特別委員会での審査後の本会議で、原案のとおり可決されました。審査で交わされた質疑の主な内容についてお知らせします。
また、６月定例会からより詳しく予算審査をするため、予算特別委員会を３つの分科会（総務教育・環境福祉・経済建設）に付託し、審査を行っています。

一般会計　21億9537万円を可決【９月補正】

総務教育分科会

婚活イベント開催を支援

Q 婚活イベント開催事業費補助金の内容は。

A 当初見込んでいた５件の申請数が上限に達しており、今後も開催の相談があることから、増額補正するものである。

環境福祉分科会

認定地域クラブに対し補助

Q 部活動地域移行に要する経費の内容は。

A 中学校の休日の部活動の地域展開に向けて、５人以上の中学生が所属する認定地域クラブの活動を支援するため補助金を交付するもの。経済困窮世帯に対しては、参加費の補助を行う。

経済建設分科会

公共汚水桝の追加設置を負担します

Q 汚水桝設置業務の委託料の内容は。

A 公共汚水桝の設置について、これまでは対象区域・用途により自己負担で設置していたものを市が設置することで、市民の負担を軽減するもの。

1　**対象土地**
「市街化区域」または「市街化調整区域における開発行為等の緩和区域等」において、住宅等を新築する敷地で、かつ前面道路に下水道本管が整備されている土地

2　**設置施設**
道路内に埋設されている、既存の上下水道本管から分岐する取り付け管および汚水桝

3　**事業開始時期**
令和９年１月以降

仮設図書館閉館後の跡地利用

Q パルテ商業フロア利活用調査設計業務委託料の内容は。

A パルテ１階の商業フロアは、現在仮設図書館として利用しているが、令和９年２月で利用を終了する。今回の委託料は、仮設図書館が４月に撤退した後の利用方法について検討し、今年10月以降に設計業者を選定する予定である。

スマートＩＣ周辺活用調査へ

Q スマートインターチェンジ周辺活用検討業務委託料の内容は。

A 全国で道の駅や産直施設等の業務委託経験を有するコンサルタント会社に委託し、スマートＩＣ周辺の土地利用計画案等の提出を依頼する予定である。

委員会活動

より良い議会運営を目指して

埼玉県鶴ヶ島市議会・北本市議会を視察（議会運営委員会）

議会運営委員会では、7月6日～7日に埼玉県鶴ヶ島市議会と北本市議会を訪問し、予算や決算の審査方法等について視察しました。

本市議会では、議会改革の一環として議会運営の見直しを検討しており、今年度から審査方法を変更するなど試行的に取り組んでいます。6月定例会から、予算特別委員会を3つの分科会（総務教育・環境福祉・経済建設）に付託し、予算議案をより詳しく審査しています。また、9月定例会からは、各常任委員会や決算・予算特別委員会の分科会での審査に先立ち、総括質疑を行い、概括的な質疑を実施しています。

鶴ヶ島市議会と北本市議会からは、所管委員会が専門的に審査を行い、多数の議案を効率的に処理できる運営方法など、詳しくご説明いただきました。

今後も本市議会は、行政から提案された議案等をより深く審査していくため、引き続き、議員間で十分に協議し、本市議会の実情に合わせた議会運営を検討してまいります。



▲本市議会に合う審査方法とは

議会のうごき（8月1日～10月15日）

■8月

4日　市長要請環境福祉常任委員会（天童市民病院の経営状況について、天童市市民文化会館高濃度ポリ塩化ビフェニル（ＰＣＢ）使用機器について）
市長要請各派代表者会
各派代表者会

6日　議会運営委員会
全員協議会
市長要請総務教育常任委員会
広報委員会
山形県後期高齢者医療広域連合全員協議会、定例会（議長／寒河江市）

8日～9日　天童夏まつり

19日　山形県議会議長会議員研修会

20日　議会運営委員会

27日～9月18日　第4回市議会定例会

27日　広報委員会

■9月

4日　市長要請総務教育常任委員会（山形連携中枢都市圏連携事業の令和7年度の実施結果について）

5日　国会議員と県市議会議長会との懇談会（議長、事務局長／山形市）

10日　市長要請経済建設常任委員会（市内農薬製造会社に係る下水道使用料について、市内理容店の下水道無届使用について、設計業務委託契約に係る成果物の瑕疵について）

16日　市長要請総務教育常任委員会（都市計画税の課税誤りについて、天童市部活動地域展開推進計画の策定について）

18日　広報委員会

■10月

1日　茨城県下妻市議会視察来童

7日　広報委員会
愛知県岡崎市議会視察来童

8日　議員研修会

15日　広報委員会



常任委員会　議案を審査しました

９月定例会では、議案６件について各常任委員会へ審査を付託しました。

また、最終日18日の本会議では、各委員長が審査状況について次のとおり報告しました。

総務教育

図書館の設備もアップデート

生涯学習課長　令和９年３月のリニューアルオープンに向け、図書館にＩＣタグを利用した機器を導入し、蔵書管理を強化する。また、リニューアル後は施設面積が１・５倍、蔵書数が20万冊から24万冊に増加する見込みである。

Q 今回導入する機器の詳細は。

A 従来は職員がバーコードを１冊ずつ読み込んで貸出を行っていたが、自動貸出機により利用者が貸出機の上に本を載せるだけで、10冊までまとめてＩＣタグを読み込み、貸出処理が完了する。自動返却機は投函口に本を入れると自動で返却処理を完了する。ゲートは貸出を受けずに施設外に出ようとするとブザーやランプでお知らせする。

Q 貸出時の利用登録は変更されるのか。

A 従来の利用者カードに加えて、スマートフォンのアプリ、マイナンバーカードの３種類で借りられるようになる。

環境福祉

証明書の取得が便利に

市民課長　マイナンバーカードの機能を一体化させた特定在留カードおよび特定特別永住者証明書が制度化されたことに伴い、これらのカードで、コンビニエンスストア等において印鑑登録証明書の交付申請を行い、交付を受けることができるようにするもの。

Q 第14条の条見出しに、新たに申請が追加された理由は。

A 「第14条内に印鑑登録証明書の交付を申請し、その交付を受けることができる。」と規定されているため、本改正に合わせて条見出しを修正するもの。

経済建設

市道の認定および廃止

建設課長　市道として新たに９路線を認定し、機能が重複する既存の３路線を廃止するもの。認定する９路線については、天童南スマートインターチェンジ整備事業に伴う新設道路を含む８路線と、奈良沢地区における民間宅地開発に伴い新設された１路線を合わせたものである。

Q 市道の認定と供用開始はいつ頃になるのか。

A 議決を経て市道として認定される予定であるが、工事完成時期の関係から、市道認定と供用開始の時期には若干のずれが生じる見込みである。

教育委員会委員の任命に同意

現教育委員会委員が令和８年９月30日をもって任期満了になることに伴い、後任として野川さつき氏（老野森）を任命することに同意しました。

決算特別委員会 正副委員長を互選

８月27日に開催された決算特別委員会において、委員長と副委員長が互選されました。

◇**委 員 長**　武田　正二

◇**副委員長**　駒延　法子

提出された議案とその結果

令和８年度第４回定例会に提出された議案とその結果は、次のとおりです。

第４回定例会（８月27日～９月18日）〈市長提出議案〉

議案番号	件　　名	結　果
認第１号	令和７年度天童市一般会計決算	**認　定**（全会一致）
認第２号	令和７年度天童市国民健康保険特別会計決算	**認　定**（全会一致）
認第３号	令和７年度天童市用地買収特別会計決算	**認　定**（全会一致）
認第４号	令和７年度天童市財産区特別会計決算	**認　定**（全会一致）
認第５号	令和７年度天童市介護保険特別会計決算	**認　定**（全会一致）
認第６号	令和７年度天童市市民墓地特別会計決算	**認　定**（全会一致）
認第７号	令和７年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	**認　定**（全会一致）
認第８号	令和７年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	**認　定**（全会一致）
議第33号	令和７年度天童市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	**原案可決及び認定**（全会一致）
議第34号	令和７年度天童市民病院事業会計利益の処分及び決算の認定について	**原案可決及び認定**（全会一致）
議第35号	令和７年度天童市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	**原案可決及び認定**（全会一致）
議第36号	令和８年度天童市一般会計補正予算（第２号）	**原案可決**（全会一致）
議第37号	令和８年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	**原案可決**（全会一致）
議第38号	令和８年度天童市財産区特別会計補正予算（第１号）	**原案可決**（全会一致）
議第39号	令和８年度天童市介護保険特別会計補正予算（第２号）	**原案可決**（全会一致）
議第40号	令和８年度天童市市民墓地特別会計補正予算（第１号）	**原案可決**（全会一致）
議第41号	令和８年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	**原案可決**（全会一致）
議第42号	令和８年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算（第１号）	**原案可決**（全会一致）
議第43号	令和８年度天童市公共下水道事業会計補正予算（第１号）	**原案可決**（全会一致）
議第44号	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について	**原案可決**（全会一致）
議第45号	天童市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	**原案可決**（全会一致）
議第46号	天童市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	**原案可決**（全会一致）
議第47号	市道の認定及び廃止について	**原案可決**（全会一致）
議第48号	学習者用端末等の取得について	**原案可決**（全会一致）
議第49号	天童市立図書館システム関連機器の取得について	**原案可決**（全会一致）
議第50号	天童市教育委員会委員の任命について	**同　意**（全会一致）
議第51号～議第54号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	**異議なし**（全会一致）

令和８年熊本地震へ義援金

８月18日、熊本県の被災地支援のため、全議員から義援金10万円を贈りました。

人権擁護委員の推薦に同意

現人権擁護委員４人が令和８年12月31日をもって任期満了になることに伴い、次の方を推薦することに同意しました。

◇**再　任**　松村　昌子 氏（久野本）
　　設樂　雅信 氏（貫　津）
　　平塚　優子 氏（三日町）
◇**新　任**　五十嵐　晋 氏（大　町）

今回の表紙（題字・イラスト）作者紹介



▲佐藤さん（写真左）からは丁寧で力のこもった題字を、神尾さん（写真右）からは静かで落ち着いている中にもキリッとした雰囲気を感じる作品をご提供いただきました。
ありがとうございました。

【題字】佐藤（さとう）　由萌（ゆめ）さん（一中３年）

Q 作品の説明をお願いします。

A 見やすいように丁寧に書きました。楷書なのでとめ、はね、はらいに注意して書きました。

Q より良いまちづくりのために一言。

A 天童には将棋やフルーツなどを筆頭にたくさんのよいものがあります。だからこそ、人との関わりを大切にして人口減少を食い止めたいです。

【イラスト】神尾（かみお）　明莉（あかり）さん（一中３年）

Q 作品の説明をお願いします。

A 私はキャンプが好きです。だからゆったりと楽しんでいる姿を描きました。天童で有名なラ・フランスをこっそり入れてみたり、マグカップに「tendo」と書かれているところもきれいに描けたと思います。楽しかったです。

Q より良いまちづくりのために一言。

A 天童市の電車の運行本数を増やして、30分に１本にしてほしいです。私も来年から高校生になるので電車を利用する予定ですし、通勤、通学する人にとって便利になると思います。

12月定例会の日程

中継あり

12/3	木	本会議（初日）
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	本会議（一般質問）
8	火	本会議（一般質問）
9	水	総括質疑 予算特別委員会
10	木	常任委員会・分科会
11	金	常任委員会・分科会
12	土	
13	日	
14	月	常任委員会・分科会
15	火	
16	水	予算特別委員会
17	木	
18	金	本会議（最終日）

※請願の締め切りは11月25日（水）正午の予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会のひとコマ



天童夏まつり花笠おどりパレードに参加

第33回天童夏まつり花笠おどりパレードに市議会として参加しました。
沿道の皆さんの温かな声援を受けながら、楽しく踊ることができました。
パレードへの参加を通して、夏まつりのにぎわいの一助となれば幸いです。
今後も皆さんと一緒にいろいろなことに参加しながらまちづくりに取り組んでまいります。





発行　天童市議会
編集　天童市議会広報委員会　天童市老野森一丁目1番1号　電話023（654）1111
印刷　大場印刷株式会社

【広報委員会】委員長　横山 愛　副委員長　新関 知己　委員　狩野 佳和・佐藤 俊弥・古澤 義弘・林 正人・斉藤美千代

VEGETABLE OIL INK
この広報紙は環境に配慮した森林認証紙・植物油インキを使用しています。